

決算説明資料



2022年3月期第2四半期

第27期第2四半期

株式会社アクセル

2021年11月

代表取締役社長 松浦 一教

証券コード 6730

1

2022年3月期
第2四半期の業績

3 | トピックス

ストックオプションの発行

従業員向けにストックオプションを発行

目的	業績向上に対する意欲や士気向上
新株予約権の総数	529個（発行済株式総数に対する比率 0.5%）
対象人数	90名
権利行使価額	1株につき 877円
権利行使期間	2023年8月11日から2027年8月10日まで

譲渡制限付株式報酬として 自己株式を処分

取締役向けに譲渡制限付株式報酬制度を採用

払込期日	2021年8月10日
処分する株式の数	当社普通株式 23,520株
処分価額	1株につき 850円
処分総額	19,992,000円
処分先	当社の取締役4名

株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有、
株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることが目的

4 新規事業関連の進捗・トピックス

機械学習 / AI

ミドルウェア

2021年4月

- NTTドコモが実用化を推進する、久留米工業大学の「対話型AI自動運転車いすパートナーモビリティ」の自律走行・遠隔制御向けの映像認識AI及びアプリケーション開発に協力

2021年6月

- エヌエスアイテクスと新たなパートナーとして組込み機器に向けたAIソリューションを共同提案

2021年9月

- コニカミノルタと画像 IoT/AI サービス提供でパートナーシップを締結

2021年10月

- ルネサスの「RZパートナエコシステム」にAIパートナーとして参画

セキュリティ

2021年5月

- SHALO LICENSING が Linux 及び Apple 製 CPU 「M1 チップ」バイナリに対応

2021年6月

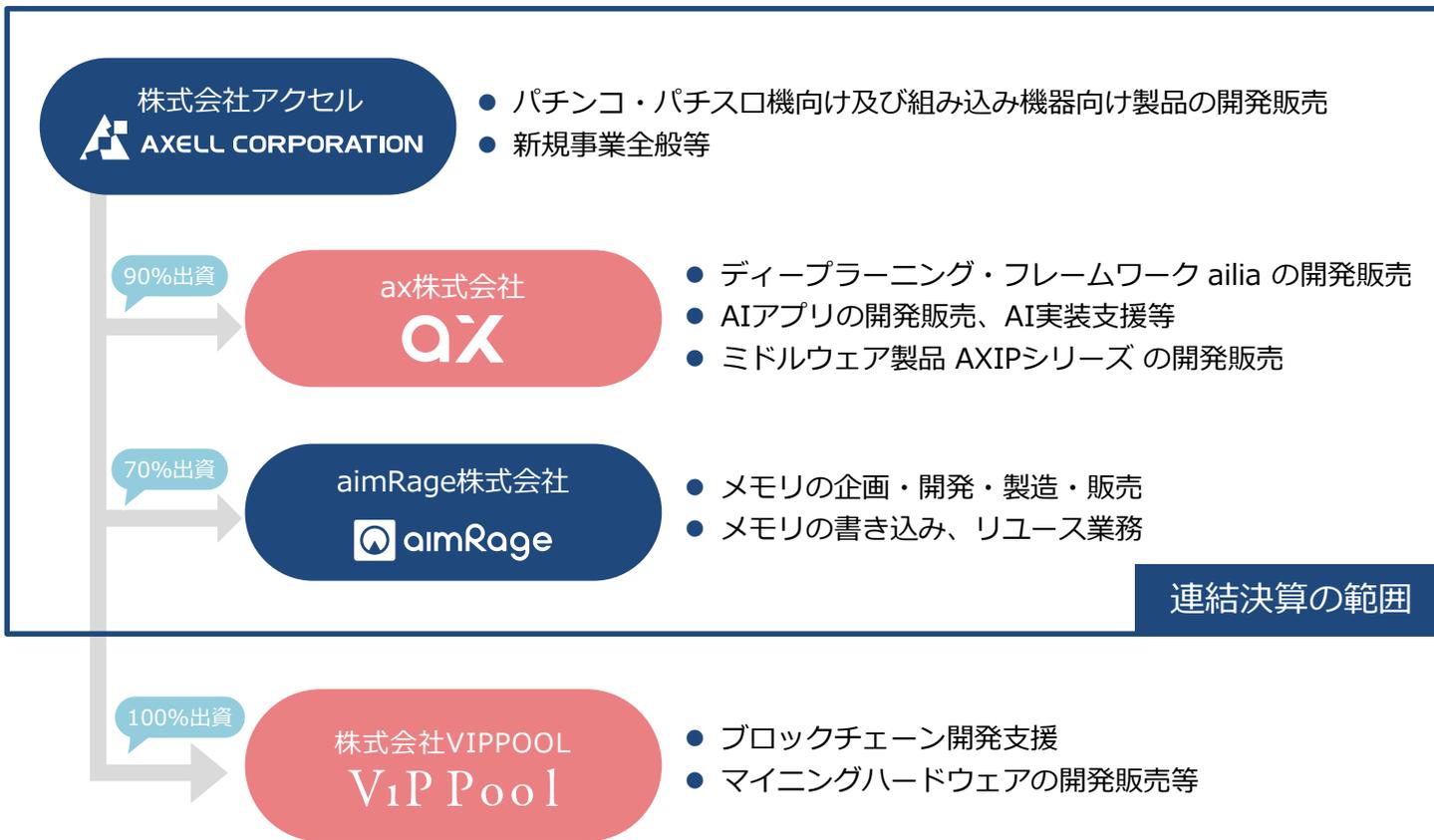
- Google 等のログイン認証及び VPN や SSH 接続時の秘密鍵を安全・簡単に管理する USB セキュリティキー「SHALO AUTH」の販売を開始

ブロック チェーン

2021年8月

- ブロックチェーンの活用例を紹介するデモアプリ「Blockchain Showcase」を開発

5 アクセルグループの概要



6 | 2022年3月期第2四半期（累計） 連結業績の概要

（単位：百万円）

	'21/3 2Q 連結実績	売上比	'22/3 2Q 連結実績	売上比	増減額	増減率
売上高	4,262	100%	5,021	100%	759	18%
売上原価	2,730	64%	3,428	68%	697	26%
売上総利益	1,531	36%	1,593	32%	62	4%
販管費	1,261	30%	1,088	22%	△172	△14%
研究開発費	738	17%	540	11%	△197	△27%
営業利益	269	6%	504	10%	235	87%
経常利益	299	7%	523	10%	224	75%
親会社株主に帰属 する当期純利益	231	5%	421	8%	189	82%

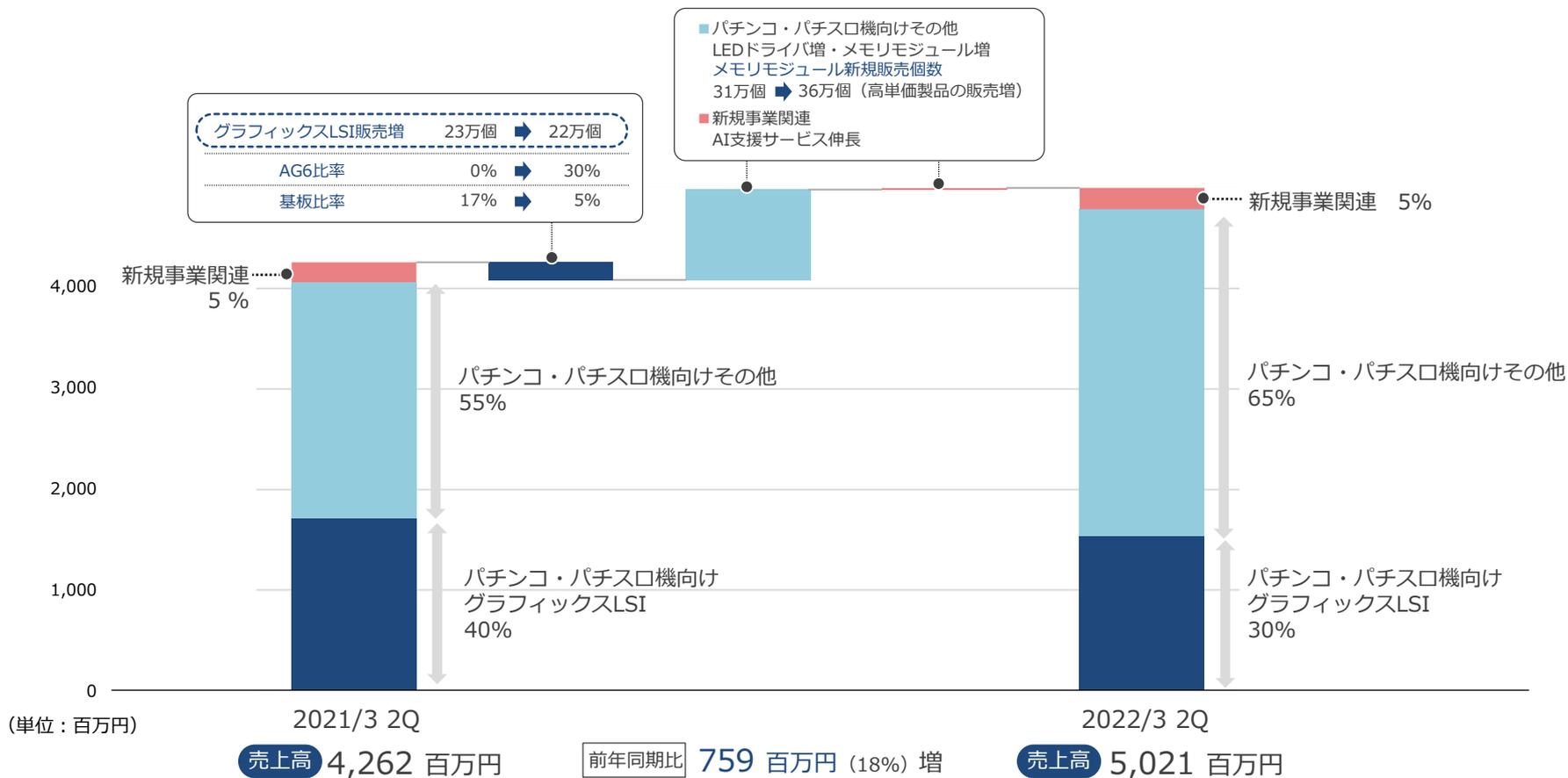
売上高

パチンコ・パチスロ機市場における
旧規則機の入替特需等により **18%** の増収

研究開発費

前年同期においてはパチンコ・パチスロ機向け
次世代製品の試作開発費200百万円を計上

7 | 2022年3月期第2四半期（累計） 連結売上高の概要



8 | 2022年3月期第2四半期（累計） 連結セグメント情報

	'21/3 2 Q 連結実績	'22/3 2 Q 連結実績
全社業績	売上高 : 4,262百万円 営業利益 : 269百万円	売上高 : 5,021百万円 営業利益 : 504百万円
LSI開発販売関連 パチンコ・パチスロ機向け製品	売上高 : 4,062百万円 セグメント利益 : 776百万円	売上高 : 4,789百万円 セグメント利益 : 1,014百万円
新規事業関連 組み込み機器向け製品※ 機械学習/AI、ミドルウェア、 ブロックチェーン、セキュリティ	売上高 : 199百万円 セグメント損失 : △201百万円	売上高 : 231百万円 セグメント損失 : △208百万円
調整額 セグメントに配分しない全社費用	全社費用 : △305百万円	全社費用 : △301百万円

※ 組み込み機器向け製品は、2021年3月期までLSI開発販売関連セグメントとしておりましたが、近年AI系を中心に新規事業との関係性が深まっていることに鑑み、2022年3月期より新規事業関連セグメントに移管しております。上記の数値は、移管後の区分に基づき算出しております。

9 2022年3月期第2四半期末 連結財政状態

(単位：百万円)

	'21/3末 連結	構成比	'21/9末 連結	構成比
流動資産	9,994	90%	9,916	90%
現金・預金	7,913	71%	8,109	73%
売掛金・契約資産	924	8%	869	8%
商品及び製品	1,076	10%	831	8%
その他	80	1%	106	1%
固定資産	1,138	10%	1,145	10%
資産合計	11,132	100%	11,062	100%
流動負債	1,021	9%	866	8%
固定負債	39	0%	39	0%
負債合計	1,061	10%	905	8%
純資産合計	10,071	90%	10,156	92%
負債・純資産 合計	11,132	100%	11,062	100%

現金・預金

196百万円 増
キャッシュ・フロー計算書にて説明

売掛金・契約資産

55百万円 減
四半期末月の販売状況による減少

商品及び製品

244百万円 減
'22/3期第3四半期以降販売予定の在庫
(半導体の需給ひっ迫の影響を受け一部製品の在庫水準の低下)

(単位：百万円)

流動負債	'21/3末	'21/9末
買掛金	756	547
未払法人税等	48	123
その他	216	195

(単位：百万円)

	'21/3 2Q実績 連結	'22/3 2Q実績 連結
現金及び現金同等物の期首残高	8,071	7,913
現金及び現金同等物増加（△減少）額	△224	167
営業キャッシュ・フロー	△24	555
投資キャッシュ・フロー	34	△53
財務キャッシュ・フロー	△234	△334
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	28
現金及び現金同等物の期末残高	7,847	8,109

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前純利益	522百万円
売上債権の減少	55百万円
棚卸資産の減少	250百万円
仕入債務の減少	△209百万円
法人税等の支払い	△34百万円

投資キャッシュ・フロー

投資有価証券の取得	△57百万円
投資事業組合からの分配	16百万円

財務キャッシュ・フロー

配当金の支払い	△334百万円
---------	---------

11 2022年3月期第2四半期（累計） 通期連結業績予想値に対する進捗

（単位：百万円）

	'22/3 2Q 連結実績	売上比	'22/3 連結計画	売上比	差額	進捗率
売上高	5,021	100%	9,600	100%	4,578	52%
売上原価	3,428	68%	6,450	67%	3,021	53%
売上総利益	1,593	32%	3,150	33%	1,556	51%
販管費	1,088	22%	2,700	28%	1,611	40%
研究開発費	540	11%	1,500	16%	959	36%
営業利益	504	10%	450	5%	△54	112%
経常利益	523	10%	560	6%	36	94%
親会社株主に帰属 する当期純利益	421	8%	440	5%	18	96%
セグメント別売上高						
LSI開発販売関連	4,789	95%	8,900	93%	4,110	54%
新規事業関連	231	5%	700	7%	468	33%

LSI開発販売関連セグメントの受注残：8,799百万円

2

2022年3月期の業績予想 今後の成長戦略

参考資料（2021年5月12日開示 決算説明資料より抜粋）

2022年3月期の主力市場の動向

パチンコ・パチスロ機市場

次期の市場分析

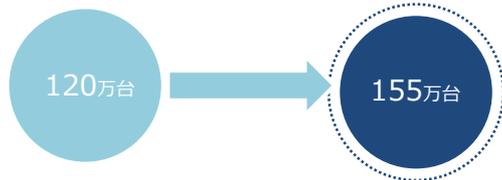
新規機への移行 ▶ 入れ替えが必要な旧規則機は市場に一定数残
市場設置数全体の約半数弱が旧規則機（当社推計）
旧規則機の入替え需要と新規機の通常の入れ替え需要が想定市場規模



2022年3月期の市場規模の当社想定

2021年3月期

2022年3月期



※当社分析

14 2022年3月期通期 連結業績予想

(単位：百万円)

	'21/3 連結実績	売上比	'22/3 連結計画	売上比	増減額	増減率
売上高	8,999	100%	9,600	100%	600	7%
売上原価	5,907	66%	6,450	67%	542	9%
売上総利益	3,091	34%	3,150	33%	58	2%
販管費	2,555	28%	2,700	28%	144	6%
研究開発費	1,472	16%	1,500	16%	27	2%
営業利益	536	6%	450	5%	△86	△16%
経常利益	705	8%	560	6%	△145	△21%
親会社株主に帰属 する当期純利益	670	7%	440	5%	△230	△34%

売上高

パチンコ・パチスロ機向け
グラフィックスLSIの販売

残りの入れ替え需要の取込み

前期 40万個 ▶ 計画 41万個

メモリモジュール製品の
販売

個数横ばい、高単価製品の販売増加

前期 71万個 ▶ 計画 71万個

セグメント別の売上高計画

LSI開発販売関連 8,900百万円 新規事業関連 700百万円

売上原価率

プラス要因

相対的に利益率の低い製品の
販売比率減

マイナス要因

一部製品の仕入れ単価上昇

(半導体需給のひっ迫による単価の見直し)

組み込み機器向け製品は、LSI開発販売関連としていましたが、近年AI系を中心に新規事業との関係性が深まっていることに鑑み、2022年3月期より新規事業関連に移管する予定です。

15 | 2022年3月期 連結売上高の予想

グラフィックスLSI販売増 40万個 ➡ 41万個

AG6移行	6%	➡	20%
基板比率	12%	➡	15%

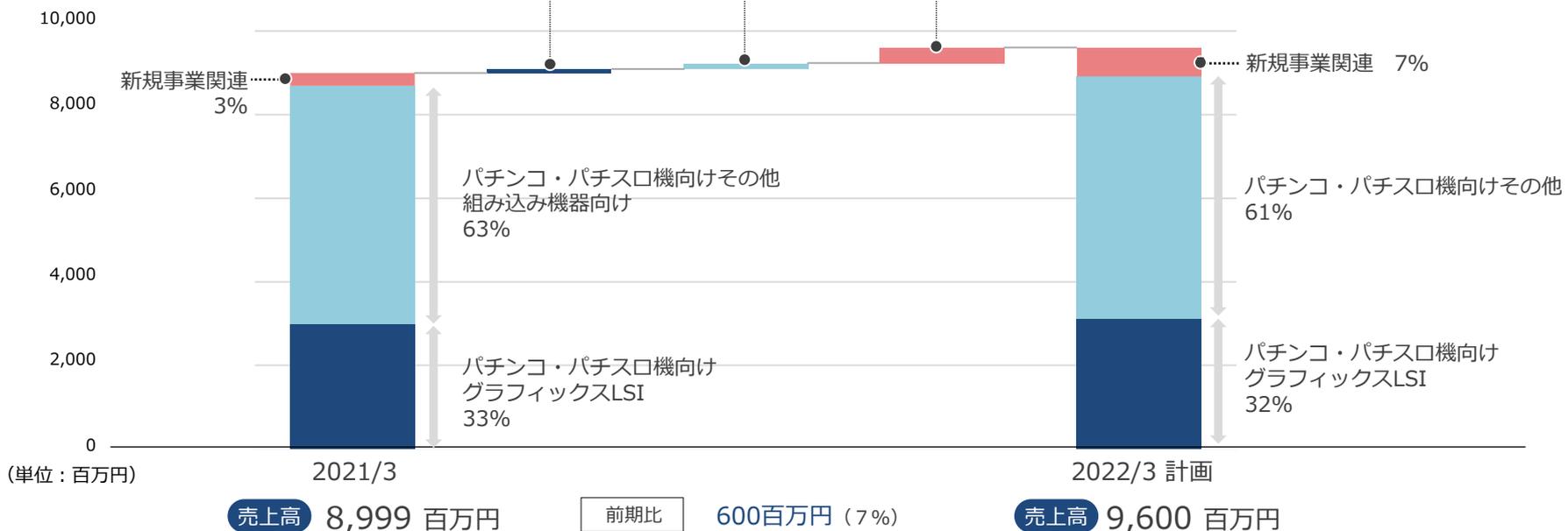
補足

- '21/3期末の受注残：29万個
- 旧規則機の市場撤去期限の延長に伴う入れ替え需要
- 入れ替え需要後の市場動向は不透明

- パチンコ・パチスロ機向けその他
メモリモジュール増収、その他減収
メモリモジュール販売個数
71万個 ➡ 71万個 ※高単価製品の販売増
- 新規事業関連
AI支援サービス伸長

市場規模に比して主力製品の販売個数が増加しない理由

- 遊技機と当社製品の販売タイミングに一定の差があること（2022年3月期設置予定の遊技機向けの当社製品の一部は2021年3月期に販売済み）
- 現行製品の販売開始から一定の時間が経過していることから主力製品のリユース率上昇を見込んでいること



16 配当予想の公表

期末配当予想を発表

配当方針（配当性向50%：連結決算）に則り配当額を算定

'21/3 実績

1株当たり純利益	60.63円
1株当たり配当額	31円
連結配当性向	51.1%

'22/3 計画

1株当たり純利益	40.75円
1株当たり配当額	21円
連結配当性向	51.5%

世の中の革新に貢献する製品（サービス）を実現する **3**つの開発力

高付加価値製品を実現する 総合的な開発力

1 ハードウェア開発力

LSI・FPGA・
基板設計力



2 ソフトウェア開発力

開発ツール・
ライブラリ



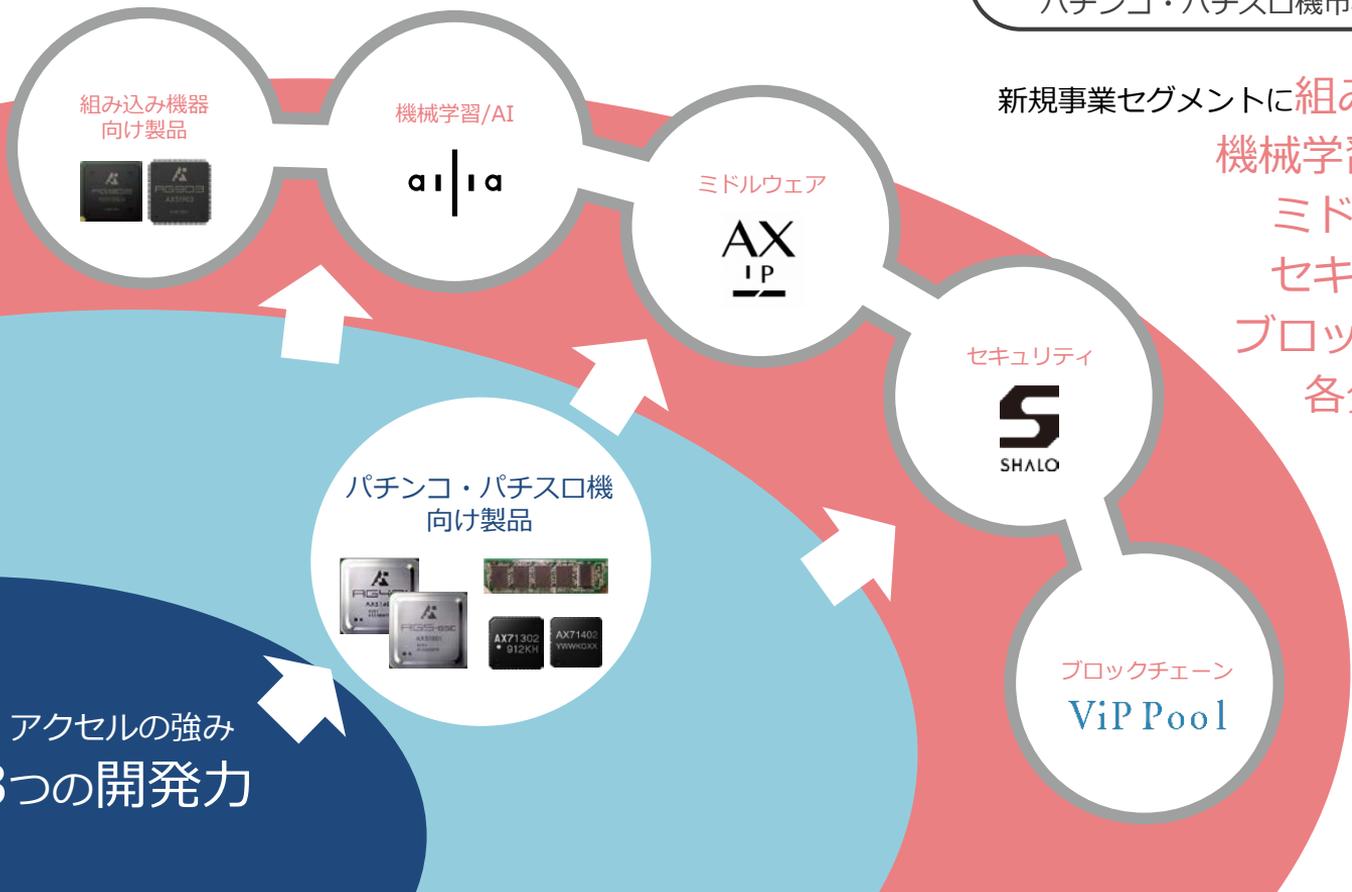
3 要素技術の研究開発力

動画・音声圧縮、超解像、暗号、AI等



18 今後の成長戦略

3つの開発力を生かして実現した
パチンコ・パチスロ機市場での成功を新規事業で再現



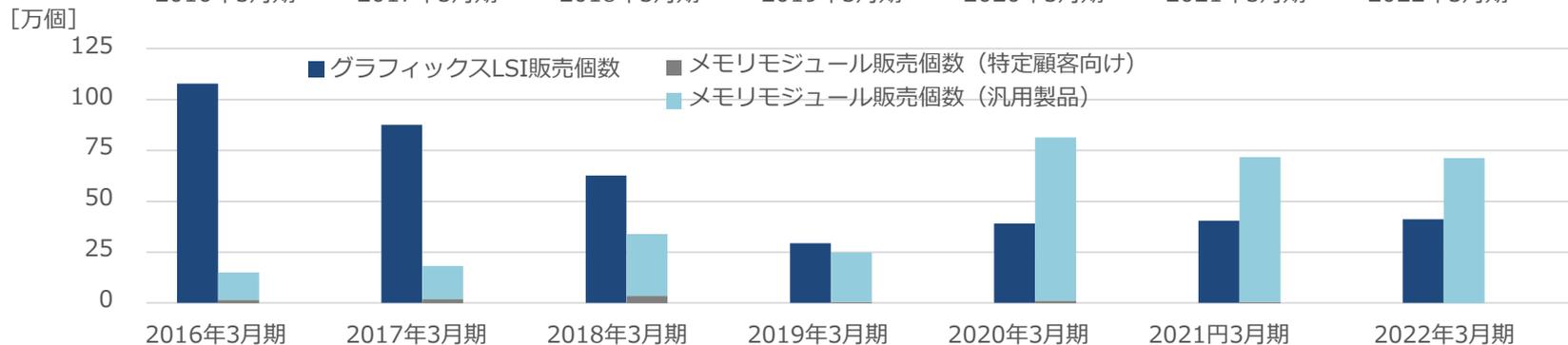
新規事業セグメントに**組み込み機器向け製品**を加えて
機械学習/AIを中心に
ミドルウェア、
セキュリティ、
ブロックチェーンの
各分野に注力

19 パチンコ・パチスロ機市場における事業基盤安定化への取り組み：メモリ製品の伸長

低迷する市場環境を見据え、グラフィックスLSIに続く主力製品を育成

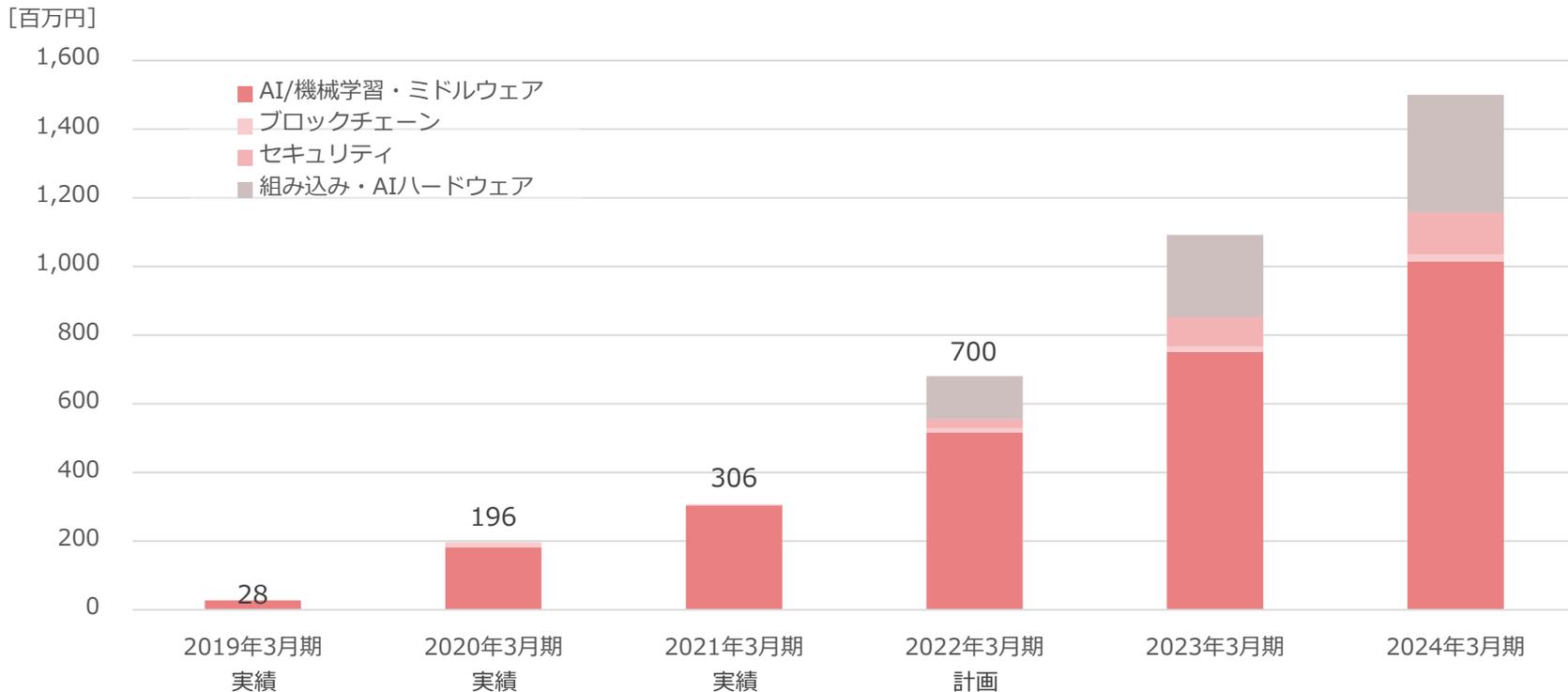
2016年3月期よりグラフィックスLSIのノウハウを生かし、より汎用性の高いメモリ製品を開発し販売を開始
 現在ではシェアの70%を獲得、さらに市場のデファクト・スタンダードを目指してaimRage株式会社を2020年に設立

■市場規模の推移（パチンコ・パチスロ機の年間販売台数）※当社推計



20 新規事業の業績イメージ

機械学習/AI領域は順調に進展するも
当初目標にした2023年3月期の新規事業系売上高16億円は1期遅れのイメージ



従来、組み込み機器向け製品はLSI開発セグメントとしていましたが、近年AI系を中心に新規事業との関係性が深まっていることに鑑み、2022年3月期より新規事業セグメントに移管する予定です。

21 機械学習/AI ビジネスモデル

独自開発のエッジ推論向けディープラーニング・フレームワーク「ailia」を中核に展開

独自開発のAIフレームワークを用いた開発支援からロイヤリティビジネスへ

世界最高水準の性能を誇る ailia を起点に、
AIに関する広範な業務の開発支援からスタート

ailia

クロスプラットフォーム対応
ディープラーニング・
フレームワーク

フレームワークの販売と
開発支援の積上げ

ディープラーニング・フレーム
ワークの販売/AI実装のコンサル
ティング

学習済みモデルの蓄積と応用

ターゲット

ソフト開発会社、
製造業・サービス業等

ソリューション
パッケージの提供

ailiaとセットで学習済みモデル
やAI製品を販売/パートナー企
業と共同で用途別モデルを開発

ビジネスモデルの進化

販売&ロイヤリティUP

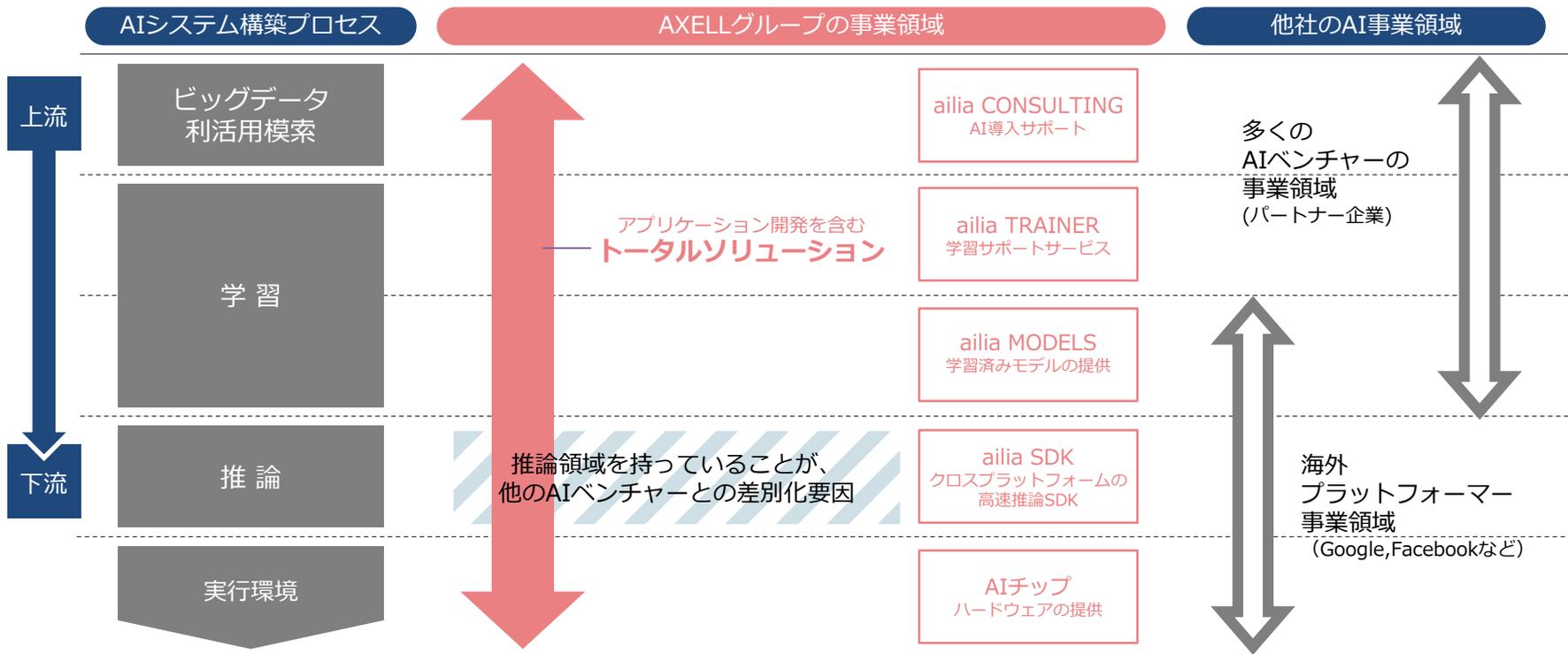
ロイヤリティ
ビジネスの構築

普及させた ailia の
ロイヤリティで安定収益

規模のメリット

22 当社のAIの優位性 ユニークな立ち位置

AIを使ったシステムの構築には「学習」と「推論」のプロセスが必要で、「推論」フレームワークを持っているAI事業者は少ない



対話型AI自動運転車いすの映像認識AI及びアプリケーション開発に協力

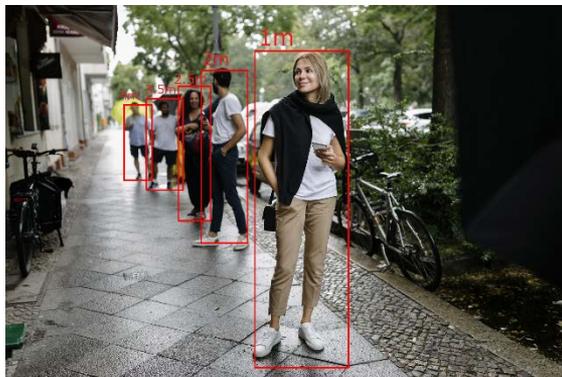
株式会社NTTドコモが実用化を推進する「対話型AI自動運転車いすパートナーモビリティ※」の自律走行及び5Gを活用した遠隔制御を実現するために「障害物検知機能」「プライバシー保護機能」をailia SDKを用いてAI実装しました。



※パートナーモビリティ：音声対話で行き先を相談しながら自動運転で目的地まで案内する、先進モビリティで移動が困難な方が介助者なしで移動を楽しむことをめざした車いす。

障害物検知機能

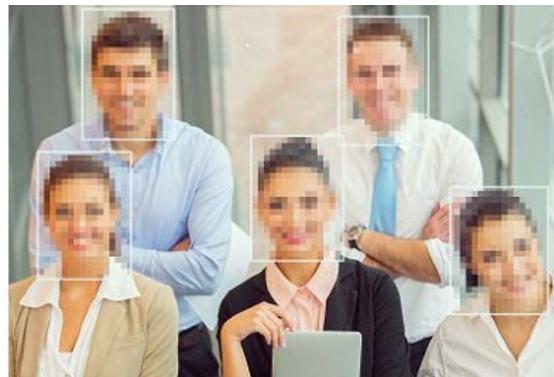
人の検知とトラッキングを行い、ステレオカメラで障害物及び人までの距離を計測するとともに、人の移動も予測します。



人の検出（単体および複数人）

プライバシー保護機能と映像転送

カメラの映像に対して人を検知し、モザイクによるプライバシー保護処理をリアルタイムに行います。



人の顔の解析結果から顔部分にモザイク処理

CLIP STUDIO Paint に ailia SDK が採用

株式会社セルシスが提供する、イラスト・マンガ・アニメーション制作ソフト「CLIP STUDIO PAINT」に、ディープラーニング・フレームワーク「ailia SDK」が採用されました。



ailia SDKは、すでにCLIP STUDIO PAINTのWindows、macOS、iOS、iPadOS版に採用されておりましたが、新たにAndroidプラットフォームに向けて提供される「CLIP STUDIO PAINT for Galaxy」にも採用されました。

ミドルウェア製品 (AXIP)



- 主にゲーミング市場向けに圧縮技術を中心としたミドルウェアを提供
- 業界最高水準のミドルウェアを多機能パッケージとして販売することで付加価値を向上
- 企業、アプリごとに固定若しくは売上連動型のロイヤリティビジネス

他社にはない
幅広いラインナップで
クリエイターを
総合的に支援

差別化要素

当社独自の
ラインナップ

H2MD

アルファ対応ムービーミドルウェア



低負荷・低遅延サウンドミドルウェア

esia

HDR対応超高圧縮ムービーミドルウェア

VUCKET

ファイルパッキングミドルウェア

GRADIA.

マルチプラットフォーム対応超解像ミドルウェア

ai | ia

クロスプラットフォーム対応ディープラーニング・フレームワーク

AXVC

カジノ・アーケードゲーム向けムービーミドルウェア

26 自動運転向けAIチップの研究開発 (機械学習 / 組み込み機器)

NEDO公募事業の一環として研究開発プロジェクトを推進



テーマ 高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発

研究開発 最先端の自動運転システムを開発している(株)ティアフォー(出資先)を筆頭に推進

プロジェクト推進体制



完全自動運転に向けたロードマップ



AIチップとして製品展開を模索、自動運転をはじめAIを利用する様々な分野への展開

SHALOプロジェクト（アプリケーションの暗号化ソリューション）

SHALOは、USB ドングルを使用し、よりセキュアに情報管理することができるソリューション

提供する
機能

- 1 アプリケーションライセンス管理
- 2 ログイン認証

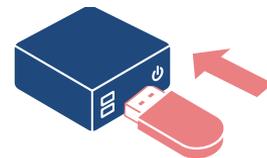
差別化
ポイント

- 1 高い安定性
- 2 クラウド時代に合わせた使い勝手
- 3 国内生産による信頼性



SHALO LICENSING

Windows/Macの
アプリケーションを
USBドングルで起動許可できる

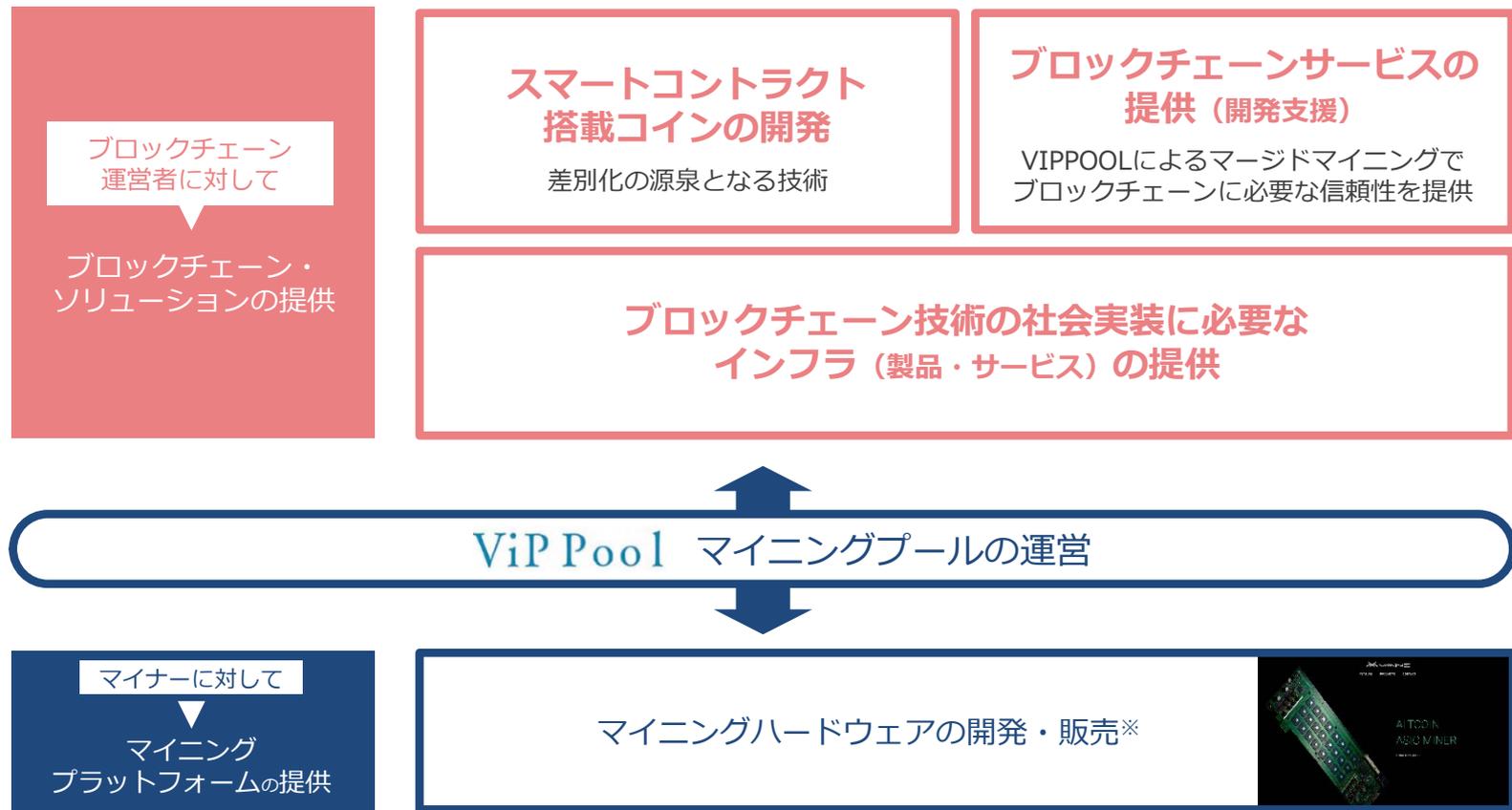


SHALO AUTH

Google / Facebook
VPN等へのログインを
USBドングルで認証できる
* FIDO認証取得



28 | ブロックチェーン ハード&ソフト開発力を生かしたビジネス展開



※ 2020年3月にモナコイン(Lyra2rev2)を含むマルチハッシュ対応のマイニングハードウェアの販売開始

29 | ブロックチェーン領域の進捗

2020年3月に マイニング・ハードウェア「VMINE」の販売を開始

対象コインの価格から2021年3月期の販売は低調
一方、足元の価格上昇から引き合いは増加

これまでの開発支援実績

ブロックチェーン技術を使ったポイントシステムの構築

2021年度の重点施策

ブロックチェーン企業としての知名度向上

技術ブログ、WEBサイト強化、アライアンス推進

VMINEやサイドチェーンを活用した ブロックチェーン・プラットフォームの構築

スマートコントラクト搭載コインの開発



独自の低コストで改ざんされにくい、高信頼性システムの構築を実現

マイニング・ハードウェア VMINE

ブロックチェーンに信頼性を提供

スマートコントラクト 搭載コインの開発

マージドマイニングによる
サイドチェーンの提供

ショーケースの公開

プラットフォームで
何ができるのかの提示

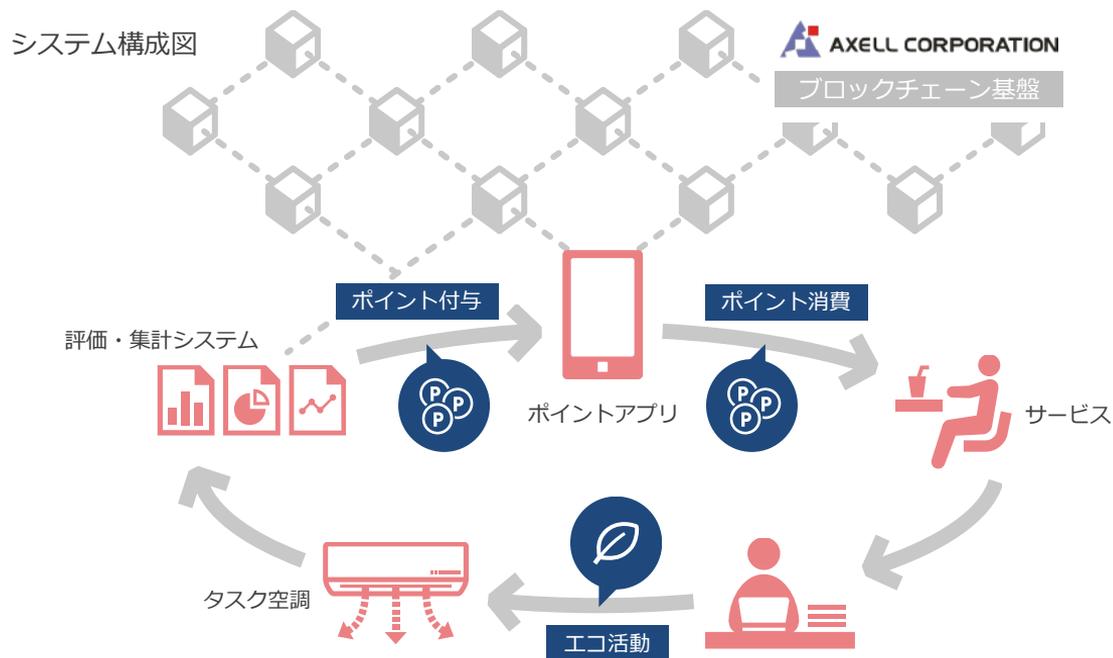
コンサル・開発案件の獲得

開発案件の創出
知名度向上、存在証明

販売増加・好循環の創出

高砂熱学イノベーションセンターにブロックチェーン技術を提供

高砂熱学工業株式会社が茨城県つくばみらい市に開設した「高砂熱学イノベーションセンター」の省エネソリューションの一環である「高砂エコポイントシステム」に当社のブロックチェーン技術が採用されました。



高砂エコポイントシステム

従業員の各デスクに設置された個別空調機の利用状況を集計し、エコ行動に応じてポイントを付与するシステムです。獲得したポイントは、同センター内にあるカフェレストランでの利用等が計画されています。

アクセルは、スマートコントラクト上のトークンとしてポイントを実装する等、ブロックチェーン技術を活用したシステム全体の開発に携わり、高度な耐障害性や相互運用性の実現に貢献しました。

31 新規事業の進捗

機械学習
/AI
ミドルウェア

2020/06/03

AIデモソフト「ailia AI showcase」を
提供開始

2020/06/10

AXIPシリーズ「H2MD」及び
「C-FA」がPlayCanvasに対応

2020/06/23

アクセルとティアフォー、
AIハードウェアアクセラレータの
製品化に向けて連携を強化

2020/07/16

セルシスの電子書籍ビューア「CLIP STUDIO READER」の
画像圧縮に開発協力

2020/07/30

ailia SDKの無償評価版を提供開始

2020/08/07

実写映像やアニメをAIで高画質化
するailia AI Refinerを提供開始

2020/08/18

CLIP STUDIO PAINT for Galaxy
に ailia SDK が採用

2021/04/01

「対話型AI自動運転車いす
パートナーモビリティ」
の自律走行・遠隔制御向けの
映像認識AI及び
アプリケーション開発に協力

ブロック
チェーン

2020/10/28

アクセル、CryptoLabと
ブロックチェーン技術を基盤とした
ソリューション、サービス事業で協業

2020/11/11

高砂熱学イノベーションセンターに
ブロックチェーン技術を提供

セキュリティ

2020/09/08

セキュリティ製品
SHALOシリーズの販売を開始

32 | 新たなステージに向けて、企業理念を刷新

パチンコ主体のファブレス半導体企業から、
世の中の革新に貢献する **先端テクノロジー企業** へ





本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複写することのないようお願い申し上げます。